

現代社会

単位数	2 単位	対象学年	1 学年	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	「新現代社会」 (第一学習社)	副教材等	「クローズアップ現代社会」 (第一学習社) 「新現代社会ノート」 (第一学習社)		

1. 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

現代社会に生きる私たちの課題において課題を設定し、追求する学習を取り入れる。現代社会の諸問題について、生徒が自分自身との関わりに着目して課題を考え、倫理・社会・文化・政治・経済・国際社会などの観点から多角的に追求し、現代の社会と人間としての在り方生き方について考察させる。

3. 学習上のメッセージ

授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。重要事項のみならず、欄外の補足も丁寧に読むと理解に役立つ。ノートの使い方(毎時間配布するプリントの貼付方法・補足事項の記入方法等)を年度の冒頭の授業で説明するので指示に従う事。

4. 評価の観点・方法 (年間の評定)

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に集中している。 ・ 重要と思った事項や図を書きとめ、ノートの取り方を工夫している。 ・ 必要に応じて資料などを活用している。 ・ 期限を守って、課題の提出が出来る。 ・ 疑問点を積極的に質問して、解決しようとしている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な事象について、地理的、歴史的な因果関係を主体的に追求し、物事の本質を関連づけて考えることができる。 ・ 身の回りで起こる事象の社会(地理的・歴史的)背景について関心を持ち本や新聞・テレビ等で幅広い情報を得ようとしている。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会資料を活用して疑問点を解決できる。 ・ 統計資料などを読みとり、有用な情報を得ることができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会について、国際社会の視野から総合的に理解し、現代社会の諸問題について、自分自身との関わりに着目して課題を考え、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めることができる。 ・ 現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

このため、評価は次のものを対象とする。

- ① 年5回の定期考査
 - ② 授業中の発問に対して回答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高等学校の生徒として規則に則った服装での学習活動の参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第1編 1. 環境と私たちの生活	①かけがえのない地球 ②地球環境のいま ③私たちの地球を守るために	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな環境問題への国際的取り組みについて学習し、自分たちの生活と関連づけて追求する。 ・資源の有限性や新エネルギーについて学習し、自らの生活の在り方を追求する。 ・科学技術の発達にともなう問題について考え、ここでは生命の操作やその在り方について考察する。
2. 資源エネルギー問題と私たちの生活	①限りある資源 ②資源問題の解決を目指して	
3. 科学技術の発達と私たちの生命	①科学技術の発達と生命 ②生命倫理をめぐる問題	
4. 高度情報化社会と私たちの生活	①情報の高度化の進展 ②高度情報化社会の進展	
1 学期中間試験		
第2編 第2章個人の尊重と法の支配	①個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界の政治体制	<ul style="list-style-type: none"> ・国家と私たちの関係について考え、国家成立の思想について学習する。 ・法の支配の意義と基本的人権の保障について理解する。 ・各国に議会制について考察する。
第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と日本の安全保障 ③冷戦終結後の防衛問題 ④平等に生きる権利と自由に生きる権利 ⑤豊かに生きる権利 ⑥新しい人権 ⑦基本的人権と公共の福祉 ⑧国会の運営と権限 ⑨内閣と行政の民主化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原則について学習する。 ・非核三原則や自衛隊をめぐる問題について学習し、日米安全保障について理解を深める。 ・偏見、差別の解消についての課題や自由権について学習し、社会権・基本的人権を確保するための権利及び新しい人権について理解を深める。 ・民主権と議会制民主主義、国会の地位と構成、国会の運営と権限、衆議院の優越について学習する。 ・内閣の組織と権限、行政機能と民主化について学習する。
1 学期期末試験		
	⑩裁判所と人権保障 ⑪法と私たちの生活 ⑫地方自治と住民の福祉 ⑬選挙制度の現状と課題 ⑭世論の形成と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・司法のしくみ、司法権の独立について理解する。 ・民主主義の学校、地方自治の課題、地域社会の一員として何をすべきかについて学習する。 ・日本の選挙制度、選挙制度の課題について、政党と圧力団体、世論と現代の政治について学習する。
第4章 国際政治の動向と日本の役割	①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③第二次世界大戦後の国際社会 ④冷戦終結後の国際社会 ⑤核兵器の廃絶と国際平和 ⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦国境と領土問題 ⑧日本の役割と私たちの生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・国境や領土問題について学習し、地域紛争や難民問題について理解を深める。 ・国連の成立と目的・役割・課題についての学習。 ・第二次世界大戦後の国際社会についての理解を深め、主権国家をめぐる新しい動き、国際法の役割について考察する。 ・軍縮と核兵器廃絶の理解と国際平和にむけての取り組みを学習する。 ・日本の外交問題や世界の中での日本の役割について学習し、国際平和へ向けて、国際社会の一員として何をすべきかを考える。
2 学期中間試験		

<p>第5章 現代の経済社会と私たちの生活</p>	<p>①経済と私たちの生活 ②経済体制の変容 ③現代の企業 ④市場のしくみ ⑤経済成長と景気変動 ⑥財政のしくみと税金</p> <p>⑦金融機関のはたらき ⑧戦後日本経済のあゆみ ⑨日本経済の現状と展望 ⑩技術革新の進展と産業構造の変化 ⑪中小企業の現状と役割 ⑫食の安全とこれからの日本の農業</p> <p>⑬雇用と労働問題 ⑭労働環境の整備 ⑮公害の防止から環境保全へ ⑯消費者問題と消費者主権 ⑰社会保障と福祉社会 ⑱これからの社会保障</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済と計画経済の違いについて学習する。 ・企業活動や株式会社の仕組みについて考察する。 ・需要と供給の関係について理解し、物やサービスの価格の決定や市場の現状を把握する。 ・財政の仕組みと財政政策、金融の仕組みと金融政策を理解する。私たちの生活と関連づけて考察。 ・第二次世界大戦後の日本経済の特徴を理解する。 ・技術革新や経済の発展のよって社会がどのように変化したのかを理解する。 ・中小企業や農業の役割と課題について学習する。 ・労働基本権や雇用事情の変化、労働条件の改善や整備、社会保障制度の仕組みと課題について、これから社会人として労働して行く立場から、諸問題について考察する。 ・日本の公害、公害防止と公害対策、環境の保全について学習する。 ・契約と消費者の自覚、消費者保護政策と企業の社会的責任について学習する。 ・日本の社会保障制度のしくみと課題について学習する。
---------------------------	---	--

2 学期期末試験

<p>第6章 国際経済の動向と日本の役割</p>	<p>①国際分業と貿易 ②国際経済体制のあゆみ ③国際収支と為替相場 ④国際経済の動向</p> <p>⑤進む地域的経済統合 ⑥発展途上国の経済と南北問題 ⑦国際社会のこれから</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済と社会主義経済の成立と変容について学習する。 ・自由貿易と保護貿易の違いについて考察し、国際機関の役割について学習する。 ・国際収支の動きや外国為替相場の動きと影響について考察し、日本の貿易の特徴について理解する。 ・アメリカや新興諸国はどのように経済発展してきたのか理解する。 ・国際経済機構と日本、南北問題、発展途上国やアジア経済の現状と課題について学習する。
--------------------------	---	---

学年末試験

